第一章　序　論……1
第1節　幕末期の蘭医学の興隆と高階安芸守の建白……3
第2節　ペリーの来航と堀田正睦の開国論……15
第3節　各国との修好通商条約の締結と遣米・欧使節団……28
第4節　松木弘安、福沢諭吉らの「夷情探索」――医療施設について――……48
第5節　幕末海外に渡航した医師たち……58
第6節　蘭語に代わる英仏露語の台頭と各種辞典の出版……69

第二章　明治新政府の発足とその医事政策……79
第1節　あたらしい政治体制の確立……81
第2節　明治初期の医界の動きと二つの医学校……94
第3節　ドイツ医学の導入……109
第4節　お雇い外国人医師の来日……119
第5節　海外留学生制度で渡航した留学生……137
第6節　「医制」の制定と長与専斎……145
第7節　明治初期の開業医師と医学校（塾）……158

第8節　各種医師団体（結社）の誕生あいつぐ……171
第9節　医術開業試験と漢洋医学闘争……182
第10節　病院の拡充と入院料金……199
第11節　女医の登場とその活躍……224
第12節　東京医学校から東大医学部へ……239

第三章　明治中期の医事問題……249

第1節　東京大学医学部の発足と邦人教授の誕生……251
第2節　医学教育制度の推移と〝医籍〟の登録……266
第3節　二つの医学校――済生学舎と成医会講習所の明暗――……279
1　済生学舎……279
2　成医会講習所……287
第4節　コレラの流行と国内の防疫体制の整備……306
第5節　衛生行政組織の整備にともなう医会の結成……324
第6節　薬律の制定と医薬分業の抗争……334
第7節　開業医制の定着と医療費の動き……354
第8節　近代的な看護婦の養成はじまる……369
第9節　軍隊と脚気――兵食論争について――……382

第10節　国家医学会と国家医学講習科……401

第四章　明治後期の医事問題……417

第1節　日本医学会と日本聯合医学会……419
第2節　医師法制定までの長い道程……433
1　大日本医会の創立と「医士法案」……433
2　第一三帝国議会に提出された「医師会法案」……446
3　明治医会も「医師法案」づくりに……462
4　関西聯合医会の設立と帝国聯合医会の結成……472
5　議会に上程された二つの「医師法案」……486
第3節　医師法制定後の医界事情……513
1　医師会創設時の医療料金……513
2　医弊を嘆いた二人の医師……520
3　学制改革と学卒医師の増加……530

あとがき

引用・参考文献一覧